

B-CASカードの挿入

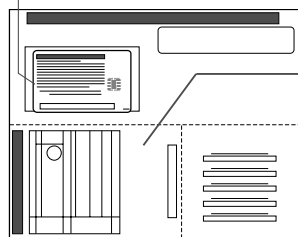
- カードの説明書に記載の文面をよくお読みの上必ず挿入してください。
- B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。
- 「使用許諾契約約款」を、よくお読みください。

BS/地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から原則として1回だけ録画可能のコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■ B-CASカードについて

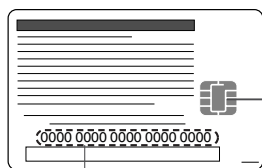
B-CASカード(添付)

- デジタル放送の視聴のために必要なカードです。



ユーザー登録はがき

- はがきまたはWebでユーザー登録をしてください。(登録は無料です)



B-CASカード

IC (集積回路)

B-CASカード番号

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

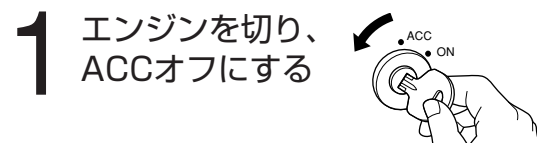
■ B-CASカード取り扱い上の留意点

- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC(集積回路)部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

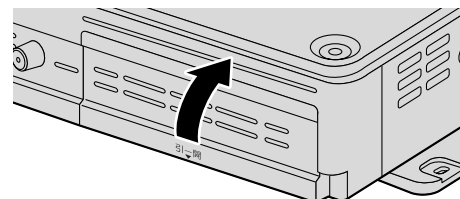
■ B-CASカードについてのお問い合わせは

(株)ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

- カードの不具合と確認された場合は、お客様よりカスタマーセンターにお問い合わせ下さい。修理センターなどでカード交換を行なった際発生した作業工賃などの費用は、お客様のご負担となります。

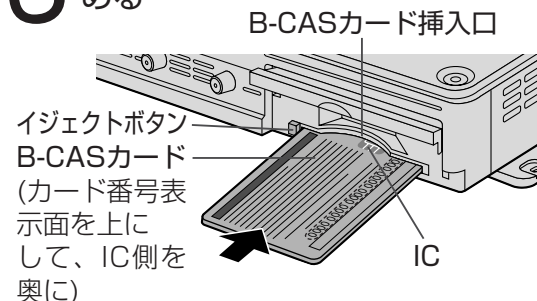


2 前面の扉を開ける



「▼」部の下の面を持ち上げます。

3 B-CASカードを挿入し、扉を閉める



- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

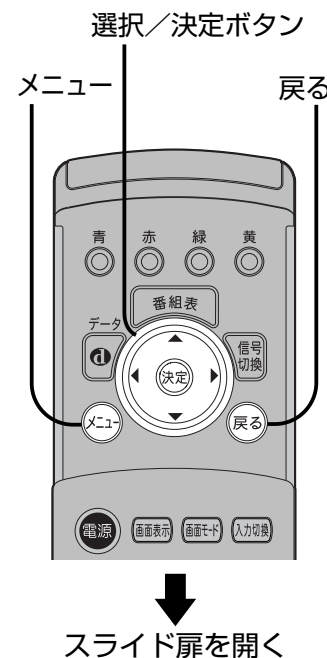
■ B-CASカードのテストをするときは

(☞ 42ページ)

■ B-CASカードを抜くとき

- ➡ (1) エン진을切る。(ACCオフ)
- (2) イジェクトボタンを押し、ゆっくりとB-CASカードを抜く。
- B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。(☞ 78ページ)
- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。(☞ 44ページ)

メニュー画面の操作と項目



●を押すと下記メニュー画面が出ます。画面で確認しながら設定や放送メールなどの情報を見ることができます。

押して「情報/メール」「システム設定」を選ぶ

押して見たい情報や設定したい項目を選び●を押す

1つ前の画面に戻るときは●を押す

スライド扉を開く

情報/メール
放送局一覧
アンテナレベル
放送メール
B-CASカード
ボード
ID表示

■ 「情報/メール」メニュー

- 現在登録されている地上デジタル放送の放送局を一覧で表示(☞ 42、43ページ)
- 受信しているアンテナのレベルを表示(☞ 42、43ページ)
- 放送局からのお知らせメールを表示(☞ 44ページ)
- B-CASカードの番号の表示とカードのテスト(☞ 44ページ)
- 110度CSデジタル放送から送られる情報を表示(☞ 45ページ)
- 本機に関する情報を表示(☞ 45ページ)

システム設定
1 チャンネル設定
選局設定
視聴制限設定
受信設定
地域設定
接続テレビ設定
デジタル音声設定
個人情報消去

■ 「システム設定」メニュー

- 地上デジタル放送のチャンネルを設定(☞ 24、25ページ)
- 受信モード自動切換設定と、選局の対象となる放送サービスを設定(☞ 34、35ページ)
- 視聴できる年齢を制限(☞ 32、33ページ)
- アンテナの受信状況を確認する(☞ 36、37ページ)
- データ放送で地域情報を受信するための設定(☞ 38、39ページ)
- 接続するテレビに合わせて設定(☞ 29～31ページ)
- デジタル音声出力の設定(☞ 40、41ページ)
- 本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報(メールなど)をすべて削除し、設定を工場出荷状態に戻す(☞ 38ページ)

確認